



f330

車のビデオカメラ
ユーザーマニュアル

目次

このガイドについて.....	3
FCC ステートメント.....	3
WEEE の通達.....	4
CE 規制の通知.....	4
バッテリー警告.....	4
設置における注意.....	5
注意.....	5
1 はじめに.....	6
1.1 特長.....	6
1.2 パッケージの内容.....	6
1.3 製品の概要.....	7
2 入門編.....	8
2.1 メモリカード の挿入.....	8
2.2 車内への設置.....	9
2.2.1 フロントガラスへの取り付け.....	9
2.2.2 機器の位置を調整します.....	10
2.3 電源への接続.....	11
2.4 機器の電源オン/オフ.....	13
2.4.1 自動電源オン/オフ.....	13
2.4.2 手動電源オン/オフ.....	13

2.5	初期設定	14
2.5.1	日付と時間の設定	14
3	ドライブレコーダーの使用	15
3.1	ビデオ録画	15
3.1.1	運転中のビデオ録画	15
3.1.2	緊急録画	15
3.1.3	録画画面	16
3.2	ファイル再生	17
3.2.1	再生画面	18
3.2.2	選択を削除	19
4	設定の調整	20
4.1	メニューの使用	20
4.2	メニューツリー	21
5	ソフトウェアのインストール	24
6	仕様	25

このガイドについて

本書の内容は情報の記載を目的としており、予告なく変更することがあります。当社ではこのユーザーガイドの正確性と完全性には万全を期していますが、情報の内容に一切誤りや欠落がないという保証はありません。

メーカーは技術仕様を予告なく変更する権利を保有しています。

FCC ステートメント

本機は、FCC 規則パート 15 に従って、クラス B デジタル機器の制限に準拠するよう試験が行われ、認められました。これらの制限は、住宅用設置物に有害な妨害に対し合理的に保護するよう設計されています。本機は、無線周波数エネルギーを発生、使用、および発射します。また、取扱説明書に従わずに取り付けて使用した場合、無線通信に有害な妨害が発生することがあります。しかし、特別な設置で妨害が起こらないという保証はありません。本機は、ラジオまたはテレビに有害な受信妨害を発生させません。これは本機の電源をオフ / オンにすることで判断できます。次の対策の 1 つ以上を行うことで妨害の修正を試みることをお勧めします。

- 受信アンテナの向きまたは場所を変える
- 本機とレシーバーの間をさらに離す
- レシーバーが接続されている回路のコンセントとは別の回路のコンセントに本機を接続する。
- 支援を受けるには、販売店または経験を積んだ無線またはテレビ技術者にご相談ください。

本機は FCC 規則パート 15 に準拠しています。動作は次の 2 つを条件とします。(1) 本機は有害な妨害を起こさない。(2) 本機は希望しない動作を発生しかねない妨害を含むいかなる受信妨害も受け入れる必要がある。

FCC の注意 コンプライアンス責任のある当事者が明示的に承認していないなんらかの変更を行った場合、本機を操作するためのユーザー権限が無効になります。

WEEE の通達

EU の個人の家庭におけるユーザーによる電気および電子機器またはバッテリー廃棄物の廃棄



製品または梱包物にあるこのマークは、家庭ごみとして廃棄できないことを示しています。電気および電子機器またはバッテリーのリサイクルのため、装置またはバッテリーのごみは該当する引き取り組織に引き渡すことで廃棄する必要があります。本機またはバッテリーのリサイクルの詳細情報については、市区町村役場、本機を購入した販売店、またはお近くの家庭ごみ廃棄サービスにお問い合わせください。材料のリサイクルは、天然資源の保護を助け、人間の健康および環境を守る方法で確実にリサイクルされます。

CE規制の通知

The product herewith complies with the requirements of the Low Voltage Directive 2006/95/EC, the EMC Directive 2004/108/EC and the RoHS Directive 2011/65/EC.

バッテリー警告

- ❖ 常に付属のシステムを使用して充電してください。バッテリーを不適切に取り扱くと、爆発を招くおそれがあります。
- ❖ バッテリーを分解したり、穴を開けたりしないでください。またはバッテリーをショートさせないでください。
- ❖ 直火にさらされると、バッテリーは爆発することがあります。バッテリーは絶対に火気に投じないでください。
- ❖ 使用済みバッテリーの廃棄は、地方条例を順守してください。
- ❖ **バッテリーを自分で交換することは絶対にしないでください。交換の際は、販売店にご依頼ください。**

設置における注意

1. 最高に広がった風景を録画できるようにするため、本機はバックミラーの近くに設置してください。
2. レンズが必ず前面ガラス ワイパーのワイプ範囲内にあるようにして、雨の場合もクリアな表示ができるようにしてください。
3. レンズに指で触れないでください。 指の脂がレンズに残り、不明瞭なビデオ画像やスナップショット画像の原因となります。 レンズは定期的にお手入れしてください。
4. 本機を色付き窓に設置しないでください。 そうすることにより、色付きフィルムが損傷する恐れがあります。
5. 設置場所は必ず色付き窓に妨げられない場所にしてください。

注意

- ❖ 認定された充電器のみをご使用ください。
- ❖ ユーザーによる分解は絶対に行なわないでください。
- ❖ バッテリーを短絡接続しないでください。
- ❖ 時刻と日付を正しく設定してから本機器をご利用ください。
- ❖ 使わなくなったバッテリーは適切に廃棄処分してください。
- ❖ バッテリーを火炎に曝すと爆発を起こすことがあります。
- ❖ 地域の法律と車両安全考慮事項に基づき、運転中は装置を操作しないでください。
- ❖ このシステムは、適用される法律で許される最大限度内で、非営利目的でのみ使用されます。 弊社は操作中に発生したいかなるデータの損失に対しても責任を負いません。
- ❖ Hewlett-Packard 社は操作中に発生した、いかなるデータ/コンテンツの損失に対しても責任を負いません。

Car Camcorder の利用を開始することで、あなたが上記のステートメントに同意するものと見なされます。

1 はじめに

最先端技術が搭載されたドライブレコーダーをお買い上げ頂きありがとうございます。本機器は運転中に、リアルタイムでビデオとオーディオの録画・録音ができるように特別設計が施されています。

1.1 特長

- フル HD カメラ (1920x1080 @ 30fps)
- 2.4 インチ LCD カラースクリーン
- Up to 140° 広角レンズ
- 動体検知
- 衝突検出時の自動緊急録画
- 最大 32GB の micro-SDHC (HD ビデオ録画に必要な Class 6 以上のスピード) をサポート

1.2 パッケージの内容

パッケージには次のアイテムが入っています。欠損品目または破損品目がある場合は、ただちに販売店にお問い合わせください。

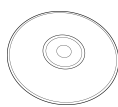
ドライブレコーダー



ブラケット



CD-ROM



クイックスタートガイド

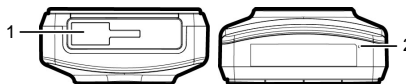


カーアダプター

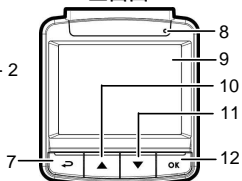


1.3 製品の概要

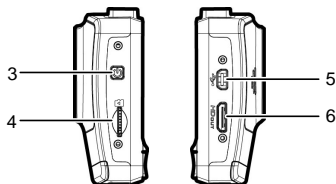
上面図と底面図



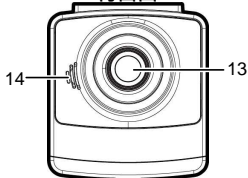
正面図



側面図 (左と右)



背面図



番号	項目
1	ブラケット ソケット
2	マイクフォン
3	[電源] ボタン
4	メモリ カード スロット
5	USB コネクタ
6	ビデオ コネクター
7	[戻る] ボタン(↶)

番号	項目
8	LED インジケター
9	LCD パネル
10	[上] ボタン(▲)
11	[下] ボタン(▼)
12	[入力] ボタン(OK)
13	広角レンズ
14	スピーカー

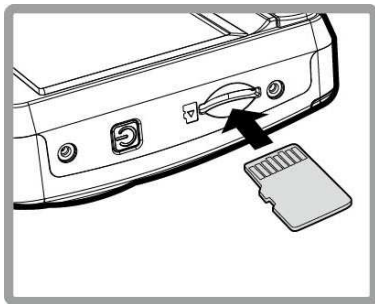
注意:

本機を動作させるには、画面のガイドアイコンに従って、対応するボタン (7,10,11,12) を押します。

2 入門編

2.1 メモリカードの挿入

メモリカードを挿入します。この時、ゴールドの接触点が本機の背面に面するようにします。カチッと音がして所定の位置に収まるまでメモリカードを押します。



メモリカードの取り外し

メモリカードの端を内側に押し込みます。カチリという音が聞こえる、またはカチリという感覚があると、メモリカードが押し出されます。その後、スロットから取り出すことができます。

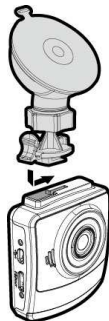
注意:

1. 本機の電源がオンになっているときは、メモリカードを取り外したり、挿入したりしないでください。これにより、メモリカードが損傷することがあります。
2. 32 GB で Class 6 以上のスピードの micro SD カードの使用が推奨されます。
3. 初めて使用するときは micro SD カードをフォーマットすることが推奨されます。

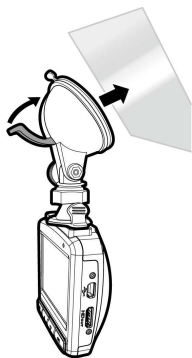
2.2 車内への設置

2.2.1 フロントガラスへの取り付け

1. ブラケットを本機に取り付けます。カチッという音が聞こえるまでブラケットホルダーに差し込みます。



2. ブラケットを取り付ける前に、フロントガラスとブラケットの吸着カップの汚れをアルコールで取ってください。乾いたらフロントガラスに吸着カップを押し付けます。

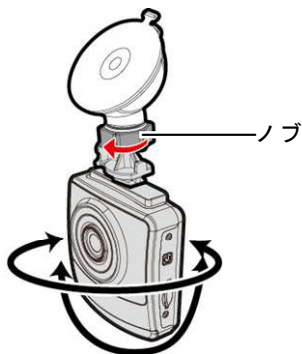


3. フロントガラスに土台をしっかり当て、クランプを押し下げてカーホルダーをフロントガラスに取り付けます。土台が所定の位置にロックされていることを確認します。

警告: 本機を色付き窓に設置しないでください。そうすることにより、色付きフィルムが損傷する恐れがあります。

2.2.2 機器の位置を調整します

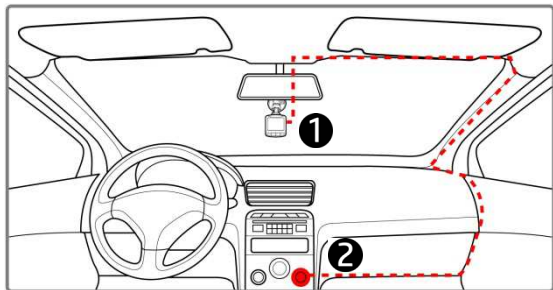
1. ノブを緩め、デバイスを縦または横に回転させます。



2. それからノブを締め、本機が安全に所定の位置にロックされていることを確認します。

2.3 電源への接続

付属の自動車用アダプターのみを使用して、機器をパワーアップし、内蔵バッテリーを充電します。



1. カーアダプターの一方向の端を本機の USB コネクターに接続します。
2. カーチャージャーの他方を車両のシガレットライターソケットに差込みます。自動車のエンジンが始動すると、本機の電源が自動的に入ります。







注意:

1. 赤いLEDはバッテリーの充電中を示します。デバイスに電源コードをつないで充電しているときに赤く点滅した場合、デバイスの温度が熱くなりすぎているため、電源コードをすぐに抜かなければなりません。

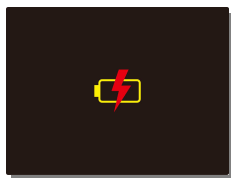
2. 周囲温度が 45° C

以上になってもビデオカメラへの電源供給を続けられますが、バッテリーは充電されない場合があります。これはリチウムバッテリーの特性であり、故障ではありません。

バッテリーステータスインジケータ:

アイコン	説明
	バッテリーは完全に充電されている状態です。
	バッテリーは 2/3 が残っています。
	バッテリーは 1/3 が残っています。
	バッテリーの残量がありません。
	バッテリーは充電中です。
	カーアダプターを接続し、バッテリーを充電してください。バッテリーは完全に充電されています。

アイコン 説明:



注意:

周囲温度が45°C以上になってもカーアダプターは電源を供給できますが、リチウムイオンバッテリーは充電できなくなります。これはリチウムイオンバッテリーの特性であり、欠陥品ではありません。

2.4 機器の電源オン/オフ

2.4.1 自動電源オン/オフ

車両のエンジンが始動すると、このデバイスは自動的にオンになります。自動録画機能が有効になっている場合、デバイスがオンになった直後に録画が自動的に始まります。

車両のエンジンが停止すると、ビデオカメラは自動的に録画を保存し、10秒以内に電源を切ります。

注意:

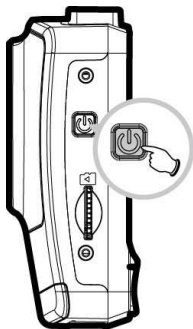
自動電源オン/オフは、電源ソケットが点火装置に接続されていることを前提とします。

2.4.2 手動電源オン/オフ

手動で電源を入れる場合は、[電源] ボタンを押します。

電源を切るには、[電源] ボタンを最低 1 秒長押ししてください。

リセットするには、[電源] ボタンを最低 8 秒長押ししてください。



2.5 初期設定

このデバイスを使用する前に、自動録画機能を有効にして正しい日時を設定することをお勧めします。

2.5.1 日付と時間の設定

正しい日付と時間を設定するには、以下の手順に従ってください。

1. **↶** ボタンを押して、OSD メニューに入ります。
2. **▲/▼** ボタンを押して、**[日付/時間]** を選択し、**OK** ボタンを押します。
3. **▲/▼** ボタンを押して、数値を調整した後、**OK** ボタンを押して別のフィールドに移動します。
4. 日付と時間の設定が完了するまで、ステップ 3 を繰り返します。



注意:

ビデオファイルの時間を正確にするために、バッテリーが切れたとき、または7日間以上使用していない場合、日時を再設定してください。

3 ドライブレコーダーの使用

3.1 ビデオ録画

3.1.1 運転中のビデオ録画

車両のエンジンが始動すると、ビデオカメラは自動的にオンになり、録画を開始します。

エンジンが停止すると、録画が自動的に停止します。

注意:

車両によっては、エンジンが切れても録画が継続することがあります。

一部の車両モデルでは、シガーライター/電源ソケットが点火装置に接続されていないため、この車両用ビデオカメラの自動電源オン/オフ機能が機能しません。

この問題を回避するには、次のいずれかを行います。

-ご利用の車両モデルで可能であれば、シガーライター/電源ソケットのオン/オフを手動で切り替えます。

-車両用ビデオカメラをオンにするには手動で電源アダプターをソケットに接続し、オフにするにはソケットから外します。

-3分または5分録画されるたびに1件のビデオファイルが保存されます。メモ리카ードの容量がいっぱいになると、メモ리카ードで最も古いファイルが上書きされます。

3.1.2 緊急録画

通常のビデオ録画中に、OK ボタンを押して**緊急録画**モードを開始します。

直後に「緊急」メッセージが画面の左上隅に表示されます。録画されたファイルは上書きされることなく保護されます。

録画を停止するには、▼ ボタンを押します。






注意:

1. 衝突検出機能を有効化しているときに衝突が検出されると、ビデオカメラは自動的に緊急録画機能を始めます。

2. 緊急録画ファイルは新しいファイルとして作成され、通常のループ録画で上書きされないように保護されます。8GB以上のメモ리카ードで最大10件の緊急ビデオファイルを保存できます。緊急録画ファイルがいっぱいになると、「緊急ファイルがいっぱいになりました」という警告メッセージが画面に表示され、新しい緊急録画ファイルが作成されると、最も古い緊急ファイルが自動的に削除されます。

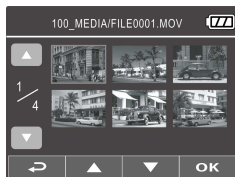
3.1.3 録画画面



番号	項目	説明
1	音声録音	音声録音のオフを示す。
2	時間長	録画時間長を表示します。
3	日付と時間	現在の録画日と時間を表示します。
4	ガイドアイコン (メニュー)	OSDメニューの入力を  ボタンを押します。
5	ガイドアイコン (再生)	 ボタンを押して、再生モードに切り替えます。
6	解像度	FHD - 1080p (1920 x 1080) HD - 720p (1280 x 720)
7	バッテリー	バッテリー残量を表示します。
8	プロンプト (スナップショット)	録画中にスナップショットを撮影するには  ボタンを押します。
9	ガイドアイコン (緊急)	OK ボタンを押して、手動で停止するまで、1つのファイルにビデオを継続して録画します。

3.2 ファイル再生

1. 録画中、▲ ボタンを押し、必要なビデオまたは写真ファイルを探します。
2. ↶ ボタンを押し、OSD メニューに入ります。
3. ▲/▼ ボタンを押し、ブラウズしたいカテゴリを選択し、OK ボタンを押します。
4. 緊急ビデオファイルを再生するとき、ファイル名の「EMER」でファイルを識別できます。

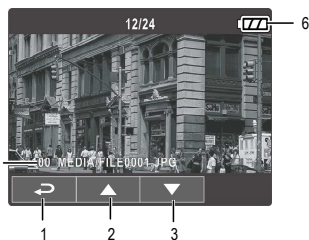


3.2.1 再生画面

ビデオ再生画面



フォト再生画面

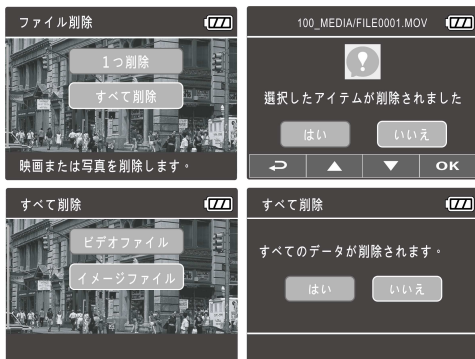


番号	項目	説明
1	ガイドアイコン (戻る)	◀ ボタンを押して、ファイル選択の表示に戻ります。
2	ガイドアイコン (前)	▲ ボタンを押して、前のビデオ/フォトを表示します。
3	ガイドアイコン (次)	▼ ボタンを押して、次のビデオ/フォトを表示します。
4	ガイドアイコン (一時停止)	⏸ ボタンを押して、ビデオの再生を一時停止します。
5	時間長	経過時間/合計録画時間を示します。
6	バッテリー	バッテリー電源の概算残量を示します。
7	ファイル名	ビデオ/写真のファイル名を示します。

3.2.2 選択を削除

ファイルを削除するには、次の手順に従ってください。

1. 録画中、OSDメニューに入るには **↶** ボタンを押します。
2. **▲/▼** ボタンを押して、[選択を削除] を選択し、**OK** ボタンを押します。
3. **▲/▼** ボタンを押して「1件削除」または「すべて削除」を選択し、**OK** ボタンを押します。
4. 「1件削除」を選択したら、**▲/▼** ボタンを押して削除対象を選択し、**OK** ボタンを押します。
5. 「すべて削除」を選択したら、**▲/▼** ボタンを押して削除対象としてビデオファイルまたはイメージファイルを選択し、「はい」または「いいえ」を選択して削除します。



注意:

1. 削除されたファイルは復元できません。削除の前に必ずファイルをバックアップしてください。
2. 緊急ファイルはこの操作で削除されません。削除するにはメモリーカードをPCに挿入して削除するか、メモリーカードをフォーマットします。

4 設定の調整

4.1 メニューの使用

画面のディスプレイ (OSD) メニューから、ビデオ録画や他の一般設定をカスタム化することができます。



1. 録画中の場合、OSDメニューを開くには **←** ボタンを押します。
2. **▲/▼** ボタンを押して、メニュー オプションを選択し、**OK** ボタンを押して、選択したメニューを入力します。
3. **▲/▼** ボタンを押して、希望する設定を選択し、**OK** ボタンを押して設定を確認します。
4. メニューを抜け、録画モードに戻るには **←** ボタンを押します。

4.2 メニューツリー

メニュー項目と使用可能なメニュー オプションについての詳細は、下表をご参照ください。

メニュー オプション	説明	使用可能なオプション
日付 / 時間	日付と時間を設定します。	▲/▼ ボタンを押して数値を調整し、OK ボタンを押してフィールドを切り替え、確定します。
解像度	ビデオの希望の解像度を設定します。	1920x1080 30 fps/ 1280x720 60 fps
EV	露出補正の設定。	▲/▼ ボタンを押して、露出値を設定します。-2 と+2の間に調整する事ができます。
運転者疲労警報	有効にすると、1 時間の運転後にビデオカメラが可聴音を鳴らします。	オン / オフ
LCD 設定	ビデオ録画が開始したら直ぐに自動的に LCD をオフにするには、ディスプレイの時間長を設定します。	オン / 30秒後に電源オフ / 3 分後にオフ / オフ
音声録音	ビデオによる音の録音を有効/無効にします。	オン / オフ

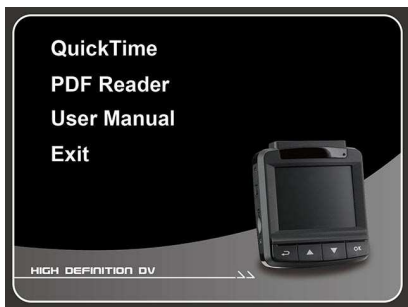
メニュー オプション	説明	使用可能なオプション
ボリュウム	ボリュウムを上げたり、下げたりできます	1~10
録音間隔	録画した各ビデオファイルの録音間隔を設定します。	3 分 / 5 分
動体検知	動体検知を有効/無効にします。この機能を有効にして電源オフ ボタンを押すと、“ 10秒後に動体検知に入ります。 ”という警告メッセージが画面に表示されます。動体検知モードでは、物体の移動が検知されたときに本機が自動的に録画を開始します。	オン / オフ
衝突検出	衝突検出を有効/無効にします。この機能を有効にしているときに衝突を検知すると、ビデオカメラは自動的に緊急録画機能を開始します。	高感度 / 標準感度 / 低感度 / オフ
言語	画面のディスプレイ メニュー言語を設定します。	実際の出荷領域によると

メニュー オプション	説明	使用可能なオプション
選択を削除	ファイルを削除します。 警告: 削除したファイルは復旧することができません。	1 つ削除 / すべて削除
形式	メモ리카ードをフォーマットします。警告: フォーマットを初期化すると、micro SD のすべての内容が削除され、復旧することができません。	はい / いいえ
デフォルト	すべてのオプションを工場出荷設定値にリセットします。	はい / いいえ
ファームウェアバージョン	現在のファームウェアバージョンを示します	

5 ソフトウェアのインストール

1. 付属の CD ROM を CD プレーヤーに配置します。
2. CD が自動的に実行しない場合は、Windows ファイル マネージャーを用いて CD 内の **Install_CD.exe** ファイルを実行します。

次の画面が表示されます。



3. 希望の [メニュー] 項目を押し、画面の指示に従ってインストール処理を開始します。

6 仕様

項目	説明
イメージ センサー	1/2.7 インチ CMOS センサー
有効ピクセル数	1920 (H) x 1080 (V)
ストレージ メディア	最大 32GB クラス 6 以上の Micro SDHC をサポート
LCD ディスプレイ	2.4 インチ LCD カラー-TFT (112K ピクセル)
レンズ	広角固定フォーカス レンズ 絞り: Up to F1.9 ; f=3.8mm
フォーカス範囲	1.5m ~ 無限大
ムービー クリップ	FHD - 1080p (1920 x 1080), 30fps HD - 720p (1280 x 720), 60fps
	形式: MOV
静止画像 (写真)	解像度 : 2M (1920 x 1080)
	形式: DCF (JPEG, Exif: 2.2)
シャッター	電子シャッター 自動: 1/2 ~ 1/2000 秒
Gセンサー	3軸 Gフォース センサー
ISO	自動
ホワイトバランス	自動

項目	説明
マイクروفオン	はい
スピーカー	はい
インターフェイス	ミニ USB、ミニ C タイプ HDMI
バッテリー	内蔵 470mAh 充電可能リチウム ポリマー
動作温度	-5° ~ 60° C
動作湿度	20 ~ 70% RH
保管温度	-20° ~ 70° C
寸法	70 x 63 x 27.2 mm
重量	約 90g